

2025年 しゅやおすすめの本50 中学生リスト

表紙をクリックすると本がどこの図書館にあるかわかります。予約もできます。

* は新しく選ばれた本です

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
1	 <p>赤毛の女医アン</p>	福田 隆浩	都会から緑ゆたかな町の診療所にやってきた女医は、もじゃもじゃの赤毛によれよれジーンズのアン先生だった。突拍子(とつぴょうし)もない行動に町の人たちはあきれて遠まきにしているが、その人柄(ひとがら)がわかるにつれ、アン先生は人気者になっていく。
2	 <p>穴 HOLES</p>	ルイス・サッカー	スタンリーは無実の罪を着せられて少年院へ連れてこられた。ここでは更正(こうせい)のために、毎日1人1個の穴掘りをさせられる。でも本当に更正のためだろうか？昔々の事件が複雑にからんで、スタンリーの祖先の不運(ふゆん)のろいを解きあかす。
3	 <p>* あなたが世界を変える日</p>	セヴァン・カリス＝スズキ	リオ地球環境サミットで、12歳の少女セヴァンが、子ども環境運動を代表してスピーチをしました。セヴァンは訴えます。オゾン層にあいた穴、死んだ川、絶滅した動物、砂漠となってしまった森…どうやって直すのかわからないものをこわし続けるのは、もうやめてください、と。
4	 <p>あのころはフリードリヒがいた</p>	ハンス・ペーター・リヒター	ぼくはドイツ人。子どもの頃ユダヤ人の友達(ともだち)がいた。ヒトラーによる反ユダヤ人運動が始まった頃だ。僕達は子どもだったから、何も分からず仲良く遊んでいた。しかし、ユダヤ人迫害はますますひどくなり、そして…。
5	 <p>* アフリカで、バッグの会社ははじめました</p>	江口 絵理	人の命を救う仕事(しごと)がしたい、と願いながら、夢をあきらめたり、思いがかなわなかったり。それでも、いつだって前(まへ)を向き、歩きつづけてきました。アフリカでバッグづくりを通してアフリカ女性を支援(しえん)する社会起業家・仲本千津(なかもとちづ)さんの、これまでをたどる“進路決定”ドキュメンタリー。
6	 <p>* 雨にシュクラン</p>	こまつ あやこ	高校生ではない16歳の真歩(まほ)は、失ったものばかりを数える日々を送っていた。そんなある日、図書館での小さな出会いが、真歩の世界をそっと変えていく。アラビアの美しい文字に導かれ、見えない未来に小さな願いを灯す。忘れかけた自分を、もう一度信じたくなる物語。

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
7	 アラヤシキの住人たち	本橋 成一	ここは長野県の人里離れた山の中。「新屋敷」という大きな屋敷に、遠い国から、近くの里から、いろいろな人が集まって、共に歩み、共に生きています。力をあわせて田畑を耕し、家畜を飼い、収穫し…。その暮らしぶりを写真で綴ります。
8	 アリになったカメラマン	栗林 慧	昆虫写真家になろうと決意した栗林さん。ところが当時は、小さなものを撮れるカメラがありませんでした。どうにかしてアリと同じ視点で写真が撮れないか。栗林さんはカメラの仕組みを研究し、オリジナルのカメラを作り始めました。
9	 *ある日、戦争が始まった 12歳のウクライナ人少女イエバの日記	イエバ・スカリエツカ	2022年2月14日、12歳(さい)の誕生日をむかえたウクライナの少女イエバ。そのわずか10日後、ロシアのウクライナ侵攻(しんこう)が始まったことで、イエバの人生は一変した。爆撃(ばくげき)に震(ふる)えながらの避難(ひなん)生活などアイルランドに逃(のが)れるまでの67日間をリアルにつづった日記。
10	 アンネの日記	アンネ・フランク	第二次世界大戦の最中、ユダヤ人の少女アンネ・フランクは、「隠れ家」で過ごした約2年間の日々を日記につづりました。ナチスの追手におびえながらも、将来への希望を失わないアンネの姿がそこにあります。
11	 羽州ものがたり	菅野 雪虫	東北の日本海側、羽州。干ばつによる不作に加え、城司による過剰な税の取立てで、人々は苦しい生活を強いられていた。そんな中、村の娘ムメと、森で一人で暮らすカラスは、都から来た少年を助けたことで、その家の人たちと知り合う。
12	 宇宙への秘密の鍵	ルーシー&スティーヴン・ホーキング	始まりはジョージ少年のペット、豚のフレディの失踪だった。フレディを探しに入ったお隣の家で出会ったのは、謎の科学者エリックと娘のアニー。エリックに導かれ、宇宙の秘密を解くために、ジョージの壮大な冒険が始まる。
13	 雨天炎天	村上 春樹	アトスはギリシャ正教の聖地だ。ここでは約2千人の僧が、厳しい修行をしながら質素な生活を送っている。そして、アトスには男しかない。人間も動物も。1988年にギリシャとトルコの辺境を巡った村上春樹さんの旅行記。

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
14	 絵で読む 広島原爆	那須 正幹	8月6日の広島は、いつもの広島とは違います。それは、どうしてなのでしょう。広島を空から描いたこの本で、1945年8月6日に何があったのかを知ってください。
15	 科学者 レイチェル・カーソン	小手鞠 るい	環境問題という意識もなかった時代に「このままでは地球は汚染され、春がきても鳥は鳴かず、世界は沈黙に包まれてしまう」と訴え、『沈黙の春』を著した科学者レイチェル・カーソン。彼女はどんな生涯を送ったのでしょうか。
16	 影との戦い(ゲド戦記1)	アーシュラ・K. ル＝グウィン	魔法使いとしてすぐれた資質を持つハイタカは、ゲドという真の名をもらい、魔法を学ぶための学院に入る。ゲドは驚くべき早さで様々な術を身につけていくが、少しの侮辱にもすぐにかっとなる彼の性格が、やがて災いをよぶことになる。
17	 神去なあなあ日常	三浦 しをん	高校を出たら、適当にフリーターで食っていこうと思っていた。何十年も先の将来なんて全然ピンとこないし、やりたいことなんかない。そんな俺が、担任に「就職先を決めてきてやったぞ」と言われ、向かったのは三重県の山奥にある村だった。
18	 北の島 グリーンランド	長倉 洋海	雪と氷におおわれた北極圏の島、グリーンランド。イヌイットの人々は伝統的に犬ぞりを使って狩猟をしてきました。しかし、年々氷が溶けていることが狩りに影響をおよぼしているようです。この本は自然とともに生きる人々の写真集です。
19	 きみが微笑む時	長倉 洋海	朝起きて、ごはんを食べて学校へ…。そんな当たり前だと思っていることが当たり前じゃない子供がいる。生まれた時からずっと戦争で、平和を知らない子供もいる。環境や習慣が違って、この本からあふれてくる子供たちの笑顔！みんな輝いているよ。
20	 木を植えた男	ジャン・ジオノ	1910年頃のフランスの山岳地帯は、草木もまばらなまったくの荒地だった。その荒地でひとりの羊飼いが黙々と木を植えつづけ、ついにはこの不毛の地を緑の森によみがえらせた。

書名(中学生向)	著者	内容紹介
21  黒い雨	井伏 鱒二	<p>昭和20年8月6日、広島に原爆が落とされました。人々はこの世の地獄を味わいながら、バラバラになった家族を探します。そこに空から死の贈り物「黒い雨」が降り注ぎました。戦争を忘れないために、ぜひ読んでみてください。</p>

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
22	源平の風(白狐魔記より) 	斉藤 洋	きつねはまだ若く、親から独り立ちしたばかり。獲物の取り方や、一番おそろしい敵は「人間」だと習った。賢く、おろかな人間の事をもっと知りたい。修行して人間に化けられるようになったきつねに見えてきた、その世界とは…。
23	コンチキ号漂流記 	ハイエルダール	太平洋に浮かぶポリネシアの島々。島の住人は、いかだで太平洋を渡ったというインカの伝説に残る人々の末裔ではないのか？著者は、周囲にバカにされても自分の仮説を信じ、仲間と共にいかだで海に漕ぎ出した。約70年前の実際の記録。
24	三国志 	羅 貫中	時は漢王朝末期、天下は曹操・孫堅・劉備の英雄たちによって三分されようとしていた。彼らの夢は天下統一。果たして、だれがその野望を成しとげるのか？中国で長い間語りつがれてきた大作が、読みやすい編訳でよみがえる。
25	三銃士 	アレクサンドル・デュマ	今から400年程前のフランスのお話。田舎からパリにやってきた若い騎士ダルタニャンは、国王と枢機卿の陰謀に巻き込まれてしまう。ダルタニャンは、3人の親友と力を合わせ、宗教の対立や国と国との戦いに命がけで立ち向かっていく。
26	* JK、インドで常識ぶっ壊される 	熊谷 はるか	なにも知らないまま降り立ったインド。「カレーの国」だけじゃない豊かな文化。目を輝かせて未来を語るスラムの少年少女たち…。タピオカもブリクラもない国・インドの光と影を現役女子高生が綴る。
27	十一月の扉 	高樓 方子	ああ、こんなすてきな家に住めたらいいな。たいていは憧れで終わってしまう願いでした。ところが父親の転勤から話はトントン拍子に進み、1週間後、中学2年の爽子(そうこ)は2か月の期間限定で、家族と離れて十一月荘の住人になっていました。
28	* 自由への道 奴隷解放に命をかけた黒人女性 ハリエット・タブマンの物語 	池田 まき子	1830年代末、奴隷主(どれいぬし)から逃亡(とうぼう)することを夢(ゆめ)見るひとりの少女がいた。十数年後、彼女(かのじょ)は自らを解放(かいほう)し、秘密(ひみつ)結社(けっさ)「地下鉄道」で、奴隷を救うリーダーとなる。不屈(ふくつ)の精神(せいしん)で力強く生きたハリエット・タブマンの一生を描(えが)きます。

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
29	 スタンド・バイ・ミー	スティーヴン・キング	行方不明の少年の事故死体があるという情報をつかんだ少年たちは、その死体を目指して鉄道の線路をたどっていきます。途中でいろいろな経験をしながら、ついに…。ドキドキしながら読める冒険の本です。
30	 センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン	もしも私が、子どもの成長を見守る妖精に話しかける力をもっていたら、子どもたちに生涯消えることのない「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見はる感性」を授けてほしいと頼むでしょう。自然との共存を望んだレイチェル・カーソンの遺作です。
31	 戦争を取材する	山本 美香	みなさんをご存知ですか？今も戦火の中でたくさん子どもたちが生活していることを。この本は、その戦場を克明に取材し、惨状を伝えています。紛争に巻き込まれた子どもたちの現状を知り、平和について考えてみましょう。
32	 素数ゼミの謎	吉村 仁	北アメリカに13年、17年ごとに大発生するセミがいます。氷河期にほとんどのセミが絶滅したのに、なぜこのセミたちは生き残れたのでしょうか？謎の答えは「13と17が素数だから」。一体、どういう意味でしょう？
33	 * 手で見るぼくの世界は	樫崎 茜	光のない僕の世界を照らしてくれたのは「手」だった。触れて知る温度、輪郭。そして、触れたものすべてが確かな命を持っていた。目には映らないものを手はすべて教えてくれた。これは僕だけの色で描かれた小さな奇跡の記録。
34	 天山の巫女ソニン ①黄金の燕	菅野 雪虫	「巫女の素質がない」と里に帰されたソニン。普通の生活に戻ったのも束の間、お城の王子達との出会いが、彼女の運命を大きく変えていく。自分に何ができるの？どんな生き方をしたらいいの？おちこぼれの巫女ソニンの物語。
35	 天地明察	沖方 丁	江戸幕府の囲碁指南を務める渋川(しぶかわ)春海(はるみ)は、日の出と共に門を出ると、奉納された算術問題を見るため渋谷の金王八幡宮(こんのうはちまんぐう)に向かった。後に新しい暦作りを命じられる春海だが、暦を作るとはどういうことなのか？はたして無事に完成するのだろうか？

書名(中学生向)	著者	内容紹介
36 隣のアボリジニ 	上橋 菜穂子	<p>「アボリジニ」とは、オーストラリアの先住民たちを指す言葉。現在も伝統文化を保ちながら生きるアボリジニがいる一方、自分たちの言語を失い、白人社会の中に生きる人たちもいます。白人のお隣さんとして暮らすアボリジニたちの生活と歴史をたどります。</p>
37 トムは真夜中の庭で 	フィリパ・ピアス	<p>病人が出たために、遠くはなれたおじさんの家に預けられたトム。友だちもなく退屈していたが、ある日、真夜中に古時計が13も時を打つのを聞きます。昼間はなかったはずの庭園に誘い出されたトムは、不思議な少女と友だちになります。</p>
38 トラベリング・パンツ 	アン・ブラッシュェアーズ	<p>女子高生の4人は生まれた時からの親友。夏を目前に、誰が履いてもステキに見えるジーンズを手に入れ、夏の間、かわりばんこに履いて過ごす事に…。4人はどんな夏を過ごすことになるの？1本のジーンズが4人の間を旅してまわる！</p>
39 ナヌークの贈りもの 	星野 道夫	<p>“むかしむかし人間は、シロクマと同じことばをしゃべっていた。”少年と、ナヌークとよばれる氷の国の王者シロクマとのかかわりから、めぐるいのちの神秘を伝える星野(ほしの)道夫(みちお)の写真絵本。</p>
40 荷抜け 	岡崎 ひでたか	<p>大吉は10歳で父を亡くす。母も死に、14歳で牛方として働くことに。冬は雪が積もる中、40kg以上の荷を背負って山を越す。ある日、実は父が生きているという噂を聞き…。江戸時代末期の信州で実際にあった事件を基にした物語。</p>

	書名(中学生向)	著者	内容紹介
41	 ハムレット(シェイクスピア名作劇場)	ウィリアム・シェイクスピア・原作	王子ハムレットの前に毒殺された父王の亡霊が現れ、自分は殺されたのだと語りかける。王子は復讐を考えるが…。陰謀や策略が渦巻くシェイクスピアの名作に、心情や情景が書き加えられ、わかりやすい物語になりました。
42	 ぼくはマサイ ライオンの大地で育つ	ジョゼフ・レマソライ・レクトン	伝統的な暮らしを守る遊牧民、マサイ族。そこに生まれた著者は、家族でただ一人、学校へ通います。学校で学ぶにつれ、村の人たちと違って来る自分にとまどいながらも、彼は次々と新しい世界へ踏み出します。
43	 ぼくらの七日間戦争	宗田 理	夏休み前の終業式の日、ある中学校の1年2組の男子全員が姿を消した。誘拐？事故？まわりの人たちは大騒ぎ。実は工場跡に立てこもり、大人たちへの「叛乱」を起こしたのだ。女子も協力して、騒ぎはどんどん大きくなる！
44	 星の使者 ガリレオ ガリレイ	ピーター・シス	科学者、数学者、天文学者、哲学者、そして物理学者と多くの肩書きを持つガリレオは、それまで人々が考えなかった事に疑問を抱いていた。聖書や教会にそむき、有罪になってまでもガリレオが伝えたかった真実とは…？
45	 幕が上がる	平田 オリザ	さおりが部長を務める高校の演劇部は、毎年地区大会で1回戦負け。でも今年は「学生演劇の女王」と言われていたらしい吉岡先生が副顧問になった。強豪校にいた中西さんも転校してきたし、ひょっとして全国大会とか行けちゃうかも！？
46	 負けないパティシエガール	ジョーン・パウアー	フォスターの夢はパティシエになること。しかし、識字障がいをもつ彼女は学校では落ちこぼれ、ママと二人で町を出た先でも面倒なことに巻き込まれる。悩みはたくさんあるけれど、どんな時も前向きに頑張るフォスターの姿に勇気をもらえます。
47	 盲導犬クイールの一生	石黒 謙吾	1986年、6歳のラブラドル・レトリバーが5匹の子犬を産みました。その中の1匹、おなかに黒い模様をもった子犬こそ、この物語の主人公クイールです。クイールは多くの出会いと別れをくり返し、たくさんの愛情を受けながら盲導犬として成長していきます。

書名(中学生向)	著者	内容紹介
48 山のくらしと動物たち バサラ山スケッチ通信 	鈴木 まもる	ここバサラ山はどこにでもある高さ608mの小さな山。鳥の巣研究者でもある作者はここで暮らそうと決めましたが…。自然と共に生活をするとはどういうことなのか、学校では習わなかったことが、楽しいスケッチとともに紹介されています。
49 ルリユールおじさん 	いせ ひでこ	大切にしていた私の図鑑がこわれちゃった。こわれた本はどこへもっていけばいいの？美しいパリの街並みとともに描かれる、ソフィーとルリユール(製本職人)の素敵な出会いの物語。
50 ローザ 	ニッキ・ジョヴァンニ	1955年、人種差別があたりまえだったアメリカ。バスの座席も白人用と黒人用に分けられていた。白人に席を譲ることを拒否したローザの「ノー」のことばが、やがて全米を動かす大きな運動を引き起こす。